

全国的に新型コロナウイルス（COVID-19）の感染者が増え、国の専門家による会議の中でも強い警戒感が示されているところです。

引き続き徹底した感染症対策を!



1. こまめに手洗いを!

- ・登校直後に
- ・校内でPC等の共用物を使用する前後に
- ・食事の前に
- ・トイレの後に
- ・帰宅後に

2. マスク着用を!



毎朝のように、「マスク忘れたので1枚ください」と保健室へ駆け込んでくる人がいます。各自、落としてしまった時のことも考え、鞆の中に複数枚準備しておきましょう。給品部でも販売してくれています。

3. 朝の健康観察の徹底を!

気の緩みはありませんか?

体調不良のために保健室へ来た人に朝の体温を聞くと、「測り忘れて来ました。」と答える人が最近ちらほらxxx。

私たちは集団生活をしています。自分自身のためにはもちろんですが、大好きな友人のためにも登校前には体温を測り、今日一日学校で元気に過ごせるかどうか判断してから登校しましょう。

4. 保健室利用について再度確認を!

新型コロナウイルス感染症は、「無症状の場合がある」ことも含めて、まだまだわからないことが多い感染症です。このため、学校で体調を崩した場合、保健室では経過をみるための休養はせず、保護者に連絡のうえ帰宅を促します。ご理解ご協力をお願いいたします。

もしも急に学校で発熱等体調不良がおこった場合、どこへ連絡をし、どのように帰宅すればよいか、日頃から家の人と相談しておいてください。

気温が低くなってきてから、「湯たんぽ貸してください」「カイロください」と言う人が多くなってきました。湯たんぽ等、共用物の貸し出しはできませんし、カイロ等が必要であれば、それぞれで準備をお願いします。

また、コロナ禍の中、身体面だけでなく、不安をかかえ悩んでいる人もいます。気軽に声をかけてください。

カウンセラーの先生も定期的に来てくれていますので紹介することもできます。



11月11日(水) 学校保健安全委員会が開催されました!



学校保健安全委員会とは、教職員、保護者、地域の関係者がその健康課題解決に向けて、今後の学校保健活動を一層活性化することを目的とした会です。

今年度は、和歌山県臨床心理士会会長 上野和久氏を講師としてお迎えし、「COVID-19 ころのサポート中長期支援」と題してご講演をいただくなど、WITHコロナの時代をどう生きるか、当日ご出席いただいた学校医、学校薬剤師の先生方からも多くの貴重なご意見をいただきました。

ご出席いただいた先生方からのご意見・ご助言等を一部ご紹介～

学校医
新谷先生



あふれる情報を正しく理解し、正しく恐れましょう。感染症は予防が一番大切です。これから冬場は乾燥するのでしっかり水分補給もしましょう!

学校医
嶋倉クリニック
木村先生



発熱した場合、まず、自分自身の症状をよくみましょう。そのうえで、かかりつけ医へ電話をし症状を伝え、どのようにして診察を受ければ良いか医師の指示に従いましょう。

学校薬剤師
大桑先生



今までどおり、教室の換気、マスク着用、手洗い、密を避けるを実践してください。そして、もうしばらく授業やクラブ終了後は寄り道をせず速やかに下校しましょう。電車やバス乗車中の会話も控えてください。

高野山大学准教授
和歌山県臨床心理士会会長
上野和久先生



COVID-19は、人と人が繋がることをブロックしてしまい、みんなが孤独になり不安になっている。家族の中でマスクを外した時(表情が見える時)その時を大切にしてほしい。